

事業の評価書（平成25年度）

池田市長 様

池田地域コミュニティ推進協議会  
会長 梶山 一實

## 記

〈事業名〉	〈予算額〉(千円)	〈所管課〉	〈枚数〉
・市民レクリエーション大会事業	350 (行事保証金)	生涯学習推進課	1
・MTP フェスティバル実施事業	390 (補助金)	教育政策課	1
・辻ヶ池公園整備事業	450 (修繕料)	みずとみどりの課	1
・廃土処理再生事業	100 (補助金)	みずとみどりの課	1
・池田駅前公園整備事業	1,447 (修繕料)	みずとみどりの課	1
・池田駅前歩道改修事業	756 (修繕料)	道路課	1
・「ちいさな絵本館」推進事業	1,436 (補助金)	子育て支援課	3
・池田小学校備品支援事業	100 (器具費)	総務課	1
・地域自主防犯・防災体制強化事業	500 (器具費) 2,200 (補助金)	危機管理課	1
・交通安全看板設置事業	150 (補助金)	交通・総務課	1
・地域コミュニティ紙等発行事業	401 (補助金)	地域分権・協働課	1
・地域コミュニティ推進協議会事務所運営推進事業	926 (補助金)	地域分権・協働課	1

※各部会毎で評価（客観的な指標も用いた）  
協議会役員会で最終照査してまとめを行った。

平成26年5月30日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会  
代表者名 会長 梶山 一 印



### 記

事業の名称	地域コミュニティ紙等発行事業
事業実施前の状況	池小校区内町会活動が不明確であった。 地域コミュニティの実施した事業はどんなことをしているのか 解りづらい
事業実施後の状況	町会外の人にも自分が住んでいる地域の様子を知る事ができた 提案事業を見やすく・わかりやすく紹介することができた
事業の効果	コミュニティ紙を見てイベントに参加したという人があった。 地図をモチーフにわかりやすが評価されている ポイ捨てとならない保存版と明記したのもよかったと聞き及んでいる。
今後の課題等	いかに多くの市民の方にコミュニティを理解していただき自ら 意見・提案をしてみたいと思ってもらえるように工夫したい。  7年目が過ぎ今一度コミュニティに対しての関心度の調査を広報 紙を使ってアンケートをとることが必要と考える。

平成26年 5月30日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会  
代表者名 会長 梶山一寛



### 記

事業の名称	事務所運営推進事業
事業実施前の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・市立池田会館内に設置(平成23年度から)</li><li>・専属女性事務員1名、男性会員3名(輪番駐在制)で運営。</li><li>・PC×2、プリンター×1、TEL(FAX)×1、プロジェクター×1、スクリーン×1、事務机、会議机、椅子等を保有。</li></ul>
事業実施後の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・開所後3年が経過し、運営も軌道に乗ってきた。</li><li>・事務員のスキルにより処理能力がアップ。</li></ul>
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"><li>・事務処理のスピード化が図れた</li><li>・補助金事業のパンフレット等、関係書類が自前での作成が可能になった。</li><li>・各事業の事務費用が削減できた。</li><li>・本協議会内の書類様式の統一標準化が出来つつある。</li><li>・ホームページの内容も充実してきた</li></ul> (H23年11月開設後、H26年3月末アクセス数21,800余)
今後の課題等	<ul style="list-style-type: none"><li>・ペーパーレス化を図り費用削減に努める。 (会員の都合もあるので無理は出来ないが。)</li></ul>

平成26年 5月30日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会  
 代表者名 会長 梶山一貴



### 記

事業の名称	地域自主防犯・防災体制強化事業
事業実施前の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区内18自治会・町会のうち13の自治会・町内会により11自主防災会が組織化、設立される。</li> <li>・うち8自主防災会への資機材配備が完了。</li> </ul>
事業実施後の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度新たに設立された自主防災会のうち綾羽・新町防災会に1次資機材配備を行った。(2次で終了)</li> <li>・10自主防災会参加の合同防災訓練を実施。(オブザーバーとして菅原町防災会も参加)</li> </ul>
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに菅原町防災会(菅原東・西合同)が設立された。さらに綾羽1丁目防災会設立準備中。</li> <li>・池小校区自主防災会・連絡会(12自主防災会が参加)が発足した。</li> </ul>
今後の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未設立の3自治会・町会への働きかけ。</li> <li>・池小校区自主防災会・連絡会による「避難所運営協議会」の設立。</li> <li>・新規事業の抽出(例:古井戸を再生し防災井戸として活用する等)</li> </ul>

平成26年 5月30日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 梶山一



### 記

事業の名称	「ちいさな絵本館」推進事業
事業実施前の状況	創立3周年を迎え、スタッフによる運営も安定してきており、絵本の貸し出しや定期的イベントなどで来館者数も順調。しっかりと地域の子育て世代に活用されてきている。
事業実施後の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度に増して地域の子育て世代へ「ちいさな絵本館」の存在が浸透してきた。</li> <li>・絵本の読み聞かせ、お話し会の継続及び講演会の実施により、スタッフと利用者間の交流が深まってきている。</li> <li>・ホームページの充実により利用者及びスタッフが絵本館についての情報をすぐに得ることができ、より親しみを持てるようになった。</li> </ul>
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフの細やかな工夫により、子育て世代への快適な空間を提供できている。</li> <li>・ホームページでこまめに絵本館の様子を掲載することにより、利用者には絵本館をより身近なものに感じてもらえるようになり、また広い地域にこの活動を知らせることができるようになった。</li> <li>・蔵書はさらに充実しており、貸出数の増加を見ても利用者の満足度を高められていると考えられる。</li> <li>・利用者自身がブログなどで絵本館を紹介するケースも増えている。</li> </ul>



## 【来館者の感想】

- ・幼児を連れて、図書館に行くと、ゆっくりできないので、絵本館が気に入ってます。
  - ・出産で池田に帰省した際、絵本館に足を運ぶようになり、それ以来、お姉ちゃんが、「絵本大好き」になりました。
  - ・「丘の上の図書館」は、遠いので、ここは、近くて、利用しやすいです。
  - ・ゆったりできて読み聞かせもできるので、ありがたいです。小さい子は動き回ったり、声を出したりするので、図書館では、気兼ねします
- ☆絵本をゆっくり見ることができます  
☆スタッフのかたが子供に読み聞かせをしてくださる間に自分の探したい絵本や大人向けの本「モエ」や「母の友」を読むことができるのも嬉しいです  
☆季節のイベントも楽しみにしています。

## 【スタッフの感想】

小さな子どもを連れてお母さんにとってゆったり過ごせる空間だと思う。こういう所はほとんどないと思うので貴重である。ただ、もっといろいろな年齢の人に訪れてもらいたいと願っている。絵本=子どものものという感じている地域の人も多いと思う。絵本には大人の心を癒す要素もあり自分で読んでも楽しいし、人に読んでもらおうとまた違った心地よさがある。そんなことを知ってもらうためには体験してもらおうことが一番。例えば大人のためのお話し会などのイベントを開いて、どこにあるのか、どんな本があるのかなどを知って身近に感じてもらえるように努力することも必要かと思う。

☆絵本館についてですが、毎回楽しくお手伝いさせていただいています。毎週来てくださる利用者さんとの触れあい、とくにまだ小さな赤ちゃんとお母さんが絵本を楽しんでいらっしゃるのを見て、絵本館が子育てのお手伝いをしているのかなと嬉しく思います。スタッフさんと絵本について語り合う時間も貴重で、良い勉強になっています。リーダーの皆さんにはいつもお世話になり本当にありがとうございます。一点、ホームページの使い心地が今一つです。専属担当者がいらっしゃらないためでしょうが、内容がたくさんあるよりも見やすさが大事かと個人的には思います。なぜか閲覧できないブログも残念です。いろいろご事情もあると思いますが、お手伝いできることはしていきたいですので、今後ともよろしくお願ひします

絵本館に一步入ると、そこは、非日常的(?)な絵本ワールドの世界。当番で行く私も、そこへ行くと、ほっと癒される感じです。親子連れが、読み聞かせをしたり、借りる本を選んだり・・・と、ゆったりとした時間が流れている空間です。親子のコミュニケーションも、絵本を通じて、豊かになるのではと思います。土曜日には、お父さんと、子どもの親子連れも、時々、来館されています。私自身も、ここで、新しい絵本にも出合えて、楽しく当番をしています

ゆったりとお子さん連れの方が、楽しんでくださっている姿を見るとこちらまで嬉しくなります。蔵書も増えて、ますます充実した絵本館にしていかなければと考えています。ここで絵本に親しんだ子どもたちが、これからも活字を楽しんで成長してくれると有意義な施設になると思います

以上

平成26年 5月30日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会  
代表者名 会長 梶山一廣



### 記

事業の名称	交通安全看板設置事業
事業実施前の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・時間帯通行規制(7時~9時)の道路入口(一方通行)左右に規制看板は設置されていたが、看板が目立たないのか進入車があとをたたない。</li><li>・道路幅員が狭いのにスピードをゆるめない車が多い。</li></ul>
事業実施後の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・目立つ看板に取り替え、誤進入車であっても違反を繰り返させないよう連続して看板を取り付けた。</li><li>・T字路、三叉路、極端に狭くなっている箇所に、新たに看板を設置し、又歩行者にも注意を喚起する看板を設置した。</li></ul>
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"><li>・通行規制時間帯の進入車が減少した。</li><li>・看板の手前でブレーキランプの点滅回数が増えた。 (上1小学生保護者・上1町会長 談)</li></ul>
今後の課題等	<ul style="list-style-type: none"><li>・本一方通行道路は市役所前及び関電前の信号を回避する為の抜け道になっているのではないかとと思われる。よって抜本的な対策(例えばスピードを出しにくい道路状況を作る等)が必要ではないかと考える。</li></ul>



平成26年5月30日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 梶山 一實 印



### 記


事業の名称	辻ヶ池公園整備事業
事業実施前の状況	公園内に草に覆われた場所が少なく、地面に家族でくつろげる場所がない。また、風で裸土から土が舞い上がり公園が埃っぽい。
事業実施後の状況	裸土のところに、平成26年3月末にヒメイワダレ草を植えて（12m x 8m）草の絨毯を設けた。初夏までは養生中。
事業の効果	・約100㎡の草の絨毯上で、家族が軽食を取るなどの団欒を期待できる。一部、風による土の舞い上がりが防止できる。 ・芝生より維持管理がやりやすい。
今後の課題等	草の絨毯範囲を拡大させること。

平成26年5月30日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 梶山 一  印

### 記

事業の名称	廃土（不用園芸土）処理再生事業
事業実施前の状況	池田小学校区周辺に家庭の植木鉢やプランタンなどからでる不用園芸土を処理、再生する場がなかった。
事業実施後の状況	辻が池公園に処理用ピットの設備を設けて、月1度の不用園芸土の回収処理、再生を実施した。処理、再生作業はNPO法人フラワーネットワーク（代表者：西垣八十三氏）のボランティアによる。
事業の効果	・不用園芸土の処分ができて、廃土の不法投棄防止、処理再生土の活用が可能となった。 ・月一度の実施利用者 平均15名
今後の課題等	・不用園芸土の処理、再生の広報 ・処理作業の要員確保 ・ピットカバーなど設備の点検補修

平成26年5月30日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会  
代表者名 会長 梶山 一寛



### 記

事業の名称	池田駅前公園整備事業
事業実施前の状況	駅前公園南側樹木（都市の森）の間に休憩できる場所が無い
事業実施後の状況	当初東屋を検討していたが、市の担当部局との協議により「シェードパーゴラ」という、日よけと、杉材のテーブル・椅子のセットを設置した。
事業の効果	この施設を利用して休憩したり、弁当を食べたりする人も多く、憩いの施設として沢山の方に利用されている。一時、椅子に設置主不明の座布団が2箇所設けられていた。公共物への私物の設置は感心しないし、雨に濡れたためかいつの間にか取り除かれていたが、早くも愛着を持たれているとも感じられる。
今後の課題等	屋根の上に枯葉や小枝が乗るので定期的な掃除が必要。また、子どもが土足で椅子の上に上がり、泥があがっているときがある。利用者にマナーアップを促したいが、池田小学校区住民のみの利用とも限らないので、啓発することが難しく感じられる。

平成26年5月30日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会  
代表者名 会長 梶山 一實



### 記

事業の名称	池田駅前歩道改修事業
事業実施前の状況	駅前歩道橋や公衆トイレ前のレンガ調歩道が雨の日は特に滑りやすく大変危険である。 (当初、駅前公園の歩道橋を滑り止め加工する予定だったが、道路課が改修工事を行う際あわせて処理するということで、てるてる広場公衆トイレ前歩道に場所を変更した。)
事業実施後の状況	てるてる広場公衆トイレ前歩道に滑り止め加工を行った。 (見た目に変化を及ぼさない加工)
事業の効果	滑り止めの効果により、以前に比べてグリップするようになり、雨の日でも安心して通行が可能となった。
今後の課題等	経年劣化していくため効果が薄れることが予想される。その状況を確認して異常があれば市に報告をする。

平成26年 5月30日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会  
代表者名 会長 梶山一



### 記

事業の名称	池田小学校備品支援事業
事業実施前の状況	・ワイヤレスメガホンが配備されていなかったため校外学習(特に臨海学舎)時に配備の必要性を感じていた。
事業実施後の状況	・メガホン・チューナーユニット・ハンド型マイク・スピーカースタンドを配備した。
事業の効果	・小学校の行事だけでなく、校区合同防災訓練等で重宝している。
今後の課題等	・両手放しでの操作を可能にするタイピン型ワイヤレスマイクロホンも同時に配備するべきであった。(児童の安全確保強化のためにも)

平成26年5月30日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会  
 代表者名 会長 梶山一博



## 記

事業の名称	MTP フェスティバル実施事業
事業実施前の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年7月実施の池小「平和のつどい」にうちわ1000本の支援及びコミュニティ推進協議会のPRコーナーを設置し参加したがこどもたちとの繋がりが希薄だった。</li> <li>・平成24年11月の「池中MTPフェスティバル」開催前に、開催案内のチラシを校区全域に折込み配布したので参加者も増え盛況であった。</li> </ul>
事業実施後の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・池小「平和のつどい」に提供したうちわのデザインを小学校側に委託した結果、児童の描いた平和の像5枚がうちに掲載され盛り上がっていた。又こどもたちとのつながりを強める為、金魚すくいを行った。大盛況であった。</li> <li>・「MTPフェスティバル」は諸般の事情により、池小開催となる。前年通り開催前のチラシを校区全域に折込み配布したのと、文化ラリーと同日開催となったので盛況であった。</li> </ul>
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続することにより、知名度も上がり活動を応援して下さる方が増えた。又地域の方々の参加も増加しつつある。</li> <li>・地域の方々の参加も徐々に増えると共に、こどもたち・学生との交流も増したと思う。</li> </ul>
今後の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MTP活動に理解・協力を得る為、機関誌を発行し更なる知名度アップを図る事を考える。又お仕着せではなく学生の積極的に関与できる仕組みを考える。</li> <li>・平和のつどいを学校行事ではなく校区の祭りにはという地域の方々の意見も頂いているので学校側との調整が必要かと考える。</li> </ul>

平成26年 5月30日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 梶山一博



### 記

事業の名称	市民レクリエーション大会事業
事業実施前の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・スポーツで健康を維持するという意識が乏しい。(特に高齢者)</li><li>・他地域はもちろん、同一地域内においても人と人とのつながりが希薄に思われる。</li><li>・池中での開催で参加者数が減少していた。</li></ul>
事業実施後の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・池小での開催となり参加者数も1290名余と増加した。</li></ul>
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"><li>・みなさんの笑顔、ご近所さんとの会話、こどもからお年寄りまで幅広い年齢層の参加により地域のつながりが強められた。</li><li>・テント、敷物等の運搬・設営・後片付けを通じ、協働の精神が養われたのではないかと。</li></ul>
今後の課題等	<ul style="list-style-type: none"><li>・車椅子での参加者に対する対応等について検討が必要。</li><li>・池小のグラウンドが狭く感じられるようになってきたので工夫が必要。</li><li>・こどもの人数が地域によって差が大きい。一工夫を要する。</li></ul>